

市立病院建設検討特別委員会

説明資料

- ◇課題事項1. 65・66街区の跡地活用の明確な将来展望について・・・資料1

- ◇課題事項2. 千駄堀のまちづくりの将来展望について・・・・・・資料2

- ◇課題事項3. 現時点で予想しうる急性期病院の建設に係る総事業費
と工期について・・・・・・資料3

課題事項 1. 65・66 街区の跡地活用の明確な将来展望

についての考え方

紙敷地区につきましては、本市の総合計画・基本構想にも掲げていますように、商業機能を中心とする交流拠点として位置づけております。

紙敷地区はJR武蔵野線と北総線の交通結節点という立地特性を十分に活かして、交流拠点に相応しい街にすることにより、「新松戸駅周辺」「八柱駅周辺」に次いで、本市の3つ目の副都心として、地域の人々が訪れる街に育成していくよう努めていきたいと考えております。

現在、紙敷地区51ha全域には地区計画を定めてございます。地区計画とは、その地域にふさわしい特徴をもった街づくりを行うために、住民と市が連携しながら、地区の目指すべき将来像を設定し、その実現のための事項を都市計画に定め、誘導していく制度でございます。

仮に、市立病院の建設場所が、65・66街区以外となった場合の整備の方向性については、このような整備方針を前提として、交流拠点としてふさわしい有効活用について検討してまいります。

また、前回申し上げましたとおり、市民が有効に活用できる公共施設等の整備も考えられることから、一例として、定期借地権付複合用途建物（公共施設、賃貸店舗、定期借地権付分譲共同住宅など）を考えた土地活用策を検討することなどがあげられますが、そのような中で設置を想定できる施設は以下のとおりです。

なお、今後については、庁内に65・66街区を含めた紙敷地域全体の街づくりについての研究会を早急に設置するとともに、整備に関する市民の意向、地域のニーズについての調査を実施し、実効性の高い方策を検討してまいります。

○行政サービス関係施設

○子育て支援施設

○教育、文化関係施設

○公官署

○飲食店舗

松戸市紙敷土地地区画整理事業 位置図

